

初級編

「加賀ふるさと検定」受験生のためのテキスト

ぶんかしせつへん  
文化施設編

いしかわけんくたにやきびじゅつかん  
石川県九谷焼美術館

江戸時代初期の彩色磁器「古九谷」をはじめとして、およそ 350 年にわたる九谷焼の名品を展示する美術館です。

「青手の間」「色絵・五彩の間」「赤絵・金襴の間」と九谷焼を様式別に分け、各展示室を回廊式に配置し、雰囲気の異なった空間で鑑賞できます。デジタルライブラリーでは収蔵品をはじめ、全国の美術館で所蔵する古九谷の名品など約 200 点を見るコーナーも充実しています。

また九谷焼美術館は「古九谷の杜・親水公園」内にあり、公園と一体化し、光と風を感じながら、四季折々の美しい姿を楽しむことができます。

くたにやきかまあとてんじかん  
九谷焼窯跡展示館

現代九谷焼のルーツである再興九谷吉田屋窯以来の窯跡（国指定史跡）を発掘、整備し、その遺構を公開している展示館です。

敷地内には九谷焼の窯として現存最古の本焼窯が残る窯小屋があります。さらに江戸後期の古材を利用して明治中期に建てられた九谷壽楽窯の旧母屋兼工房が展示棟として活用されており、九谷焼の製作工程や歴史が企画展などによって魅力的に紹介されています。また、蹴りロクロや絵付け体験コーナー（要予約）もあり、九谷焼のオリジナル作品を作ることもできます。

なかやうきちろう かがくかん  
中谷宇吉郎雪の科学館

「雪は天から送られた手紙である」この詩情あふれる言葉を残した雪博士・中谷宇吉郎（1900-1962）の業績や人となり、雪と氷の科学を紹介した科学館です。博士は世界で初めて人工的に雪の結晶を作り出しました。館内ではダイヤモンドダストの実験やパネル・映像などで雪や氷の不思議を楽しく学ぶことができます。

建物は、雪をモチーフとした六角形の塔が立ち並ぶユニークな建物で、建築家磯崎新が設計しました。中庭にはグリーンランドの岩石が敷きつめられ、人工霧がたちこめる仕掛けもあります。

きたまえぶね さとしりょうかん  
北前船の里資料館

北前船の経営により巨額の財をなした酒谷長兵衛が明治9年に建てた邸宅を活用した資料館です。加賀橋立重要伝統的建造物群保存地区の一角にあり、30畳の大広間（オエ）には巨大な松を使用した梁や全国各地から運ばれた贅沢な資材が使われており、建設当時のまま保存しながら公開しています。

母屋や土蔵に展示された航海道具や船筆筒からは当時の船乗りたちの生活を窺い知ることができます。他にも船絵馬や引札など北前船にまつわる様々な資料を紹介しています。

ふかだきゅうや ふんかかん  
深田久弥山の文化館

「日本百名山」の著者として知られる大聖寺出身の山の文学者、深田久弥（1903-1971）の業績や山の魅力を紹介する文化館です。

建物は明治43年に絹織物工場として建てられた旧「山長株式会社」の事務所棟や石蔵などを改築したもので、数多くの山や自然に関する本が集められている図書室、季節ごとの山岳写真が並ぶ廊下ギャラリー、「日本百名山」の自筆原稿や久弥の遺品などが並ぶ石蔵展示室などがあります。樹齢650年のイチョウや750年のスダジイなど、館をとりまく巨木も見所のひとつとなっています。

### 鴨池観察館

片野鴨池は、石川県と福井県の県境、日本海から内陸に約1 km のところにある淡水の池で、毎年11月前半から2月末をピークに、数千羽のガン・カモ類が越冬する国内有数の水鳥の飛来地です

この池に面して建つ加賀市鴨池観察館では、鴨池に飛来してくる、国指定天然記念物の「マガン」「ヒシクイ」「オジロワシ」などの貴重な鳥たちを観察できます

館の運営は指定管理者である「日本野鳥の会」によってなされており、常駐する日本野鳥の会レンジャーが野鳥をはじめ各種野生生物や自然について解説をしてくれます。

### 魯山人寓居館いろは草庵

大正4年10月、北大路魯山人（当時は福田大観）は金沢の文人細野燕台の紹介で山代温泉を訪れました。吉野家の別荘を仕事場として約半年間、吉野家、須田菁華の刻字看板を彫るために滞在した建物がいろは草庵です。

魯山人が看板を彫った仕事部屋、書や絵を書いた書斎、山代温泉の旦那衆と語り合った囲炉裏の間など、当時そのままに公開されています。

土蔵を改造した展示室では魯山人の陶磁器、書、絵画や山代温泉ゆかりの作品を展示しています。母屋と土蔵を繋いだロビーからはお茶を飲みながら、中庭をゆっくり眺めることもできます。

### 芭蕉の館

芭蕉が泊まった泉屋に隣接していた扇屋別荘を改築したもので山中温泉最古の旅館建築です。昭和六年の山中温泉の大火にも類焼をまぬがれ、芭蕉が書き残した「やまなかや菊は手折らじ湯のにほひ」の掛軸真蹟をはじめ、芭蕉像や扁額など多くの俳諧資料が公開展示されています。また、館二階には、芭蕉・桃妖（泉屋の若主人）の資料展示室があります。

## 加賀市美術館

加賀市の玄関口である JR 加賀温泉駅前にある総合美術館です。加賀市ゆかりの作家の作品を紹介する企画展や石川県を代表する展覧会の巡回展、絵画や工芸など様々な分野の作品展を行なっています。館蔵品として西出大三（にしでだいそう きり 金工芸）、山田宗美（やまだそうび てつうちだし 鉄打出工芸）、佐々木泉景（ささきせんけい おかかええし 加賀藩御抱絵師）、森本仁平（もりもとにへい 油絵）、はざま 碓伊之助（しゅうぞう 油絵、九谷焼）などの著名な作家の作品が収蔵されており、すいじ 随時公開しています。

## 竹の浦館

加賀市瀬越町（せごえまち）の「竹の浦館」（たけ うらかん）は、昭和 5 年に建てられた「瀬越小学校」の建物を青年の家として利用されていたものを、その後、一部改修し、地域活動と文化交流の拠点「竹の浦館」として活用されています。館内には地域の特産品を販売する売店（ばいてん）やそばやヘシコなどを食べる（た）ことができる食堂、講座や展示会を開くことができる講堂（こうどう）、料理講習のための調理室（ちょうりしつ）などがあります。平成 14 年から NPO 法人「竹の浦夢創塾」（うらむ そうじゅく）が指定管理者として運営にあたっています。